学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	専門体育	科目	スポーツⅣ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	アクティブスポーツ[総合版]大修館書店						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「スポーツⅣ」では、感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり，自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，「それぞれ 特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を する」ことなどができるよう様々な課題を解決し、作品を作りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 音楽のビートやリズムを正確に捉え、全身で表現できるようになる。また、ダンスの基本動作 やステップを習得し、より複雑な動きにも対応できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】 感情やイメージを身体で表現する: 音楽やテーマから得たイメージを、動きや表情で表現できる ようになる。また、既存のダンスを模倣するだけでなく、自分なりの表現を加え、個性を発揮で きるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】 ダンスを通して、言葉以外の方法で他者と意思疎通を図る力を養う。また、グループで踊る際 に、互いに協力し、意見を出し合い、一つの作品を作り上げる経験を通して、協調性を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて， リズムに乗って全身で踊ることや、創作ダンスでは，表したいテーマにふさわしいイメージを捉え，個や群で，緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり，簡単な作品にまとめたりして踊ることの計画を立てて作品を作成し習得ができるようにする。	自己の課題を解決するとともに生涯を通して「スポーツⅣ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができるようにする。	一人一人の違いに応じた表現 や役割を大切にしようとする 態度や、互いに助け合い高め 合おうとすること、役割を積 極的に引き受け自己の責任 を果たそうとすること、仲間 と話し合うなど合意形成に 貢献しようとすることがで きるようにする。また、体調 に応じて運動量を調整した り危険を予見し回避行動を とったりすることなどによ って、健康・安全を確保し事 故防止を図ることができる ようにする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期4～8月	現代的なリズムのダンス創作ダンス	・現代なリズムのダンスは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり，変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。・創作ダンスは表したいテーマから中心となるイメージを捉えて動きにする際には，多様な題材の選択や表現の仕方，動きの展開が求められる。即興的な表現から，表したいテーマにふさわしいイメージを一層深めて，中心となるイメージを強調した「はじめーなかーおわり」の構成で，表現して踊る。	a: 現代的なリズムの特徴(ビート、アクセント、シンコペーション等)を正確に捉え、変化とまとまりを付けながら全身でリズムに乗って踊ることができる。創作ダンスにおいて、緩急・強弱・空間の使い方を効果的に活用し、テーマに合った動きを即興および作品として表現できる。 b: テーマにふさわしいイメージを具体的に捉え、動きの構成や展開を工夫し、個人や群で効果的な作品にまとめることができる。動きの変化や構成意図を説明できる。 c:仲間と協力して創作活動に取り組む。試行錯誤しながらよりよい作品を目指して改善しようとする姿勢が見られる。	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題
2・3学期9月～12月	現代的なリズムのダンス創作ダンス	・創作ダンスは表したいテーマから中心となるイメージを捉えて動きにする際には，多様な題材の選択や表現の仕方，動きの展開が求められる。即興的な表現から，表したいテーマにふさわしいイメージを一層深めて，中心となるイメージを強調した「はじめーなかーおわり」の構成で，表現して踊る。	a: 現代的なリズムの特徴を正確に捉え、変化とまとまりを付けながら全身でリズムに乗って踊ることができる。創作ダンスにおいて、緩急・強弱・空間の使い方を効果的に活用し、テーマに合った動きを即興および作品として表現できる。 b: テーマにふさわしいイメージを具体的に捉え、動きの構成や展開を工夫し、個人や群で効果的な作品にまとめることができる。動きの変化や構成意図を説明できる。 c:仲間と協力して創作活動に取り組む。試行錯誤しながらよりよい作品を目指して改善しようとする姿勢が見られる。	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度